

医療機器、未来へ。

医療機器安全管理研究会 キックオフセミナー

2018年11月10日(土)

13:00~17:00

再製造単回使用医療機器の展望

大阪大学医学部附属病院 病院教授 材料部部長

高階 雅紀

医療の質・安全を向上させる 医療情報システムとは

大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 教授

大阪大学医学部附属病院 医療情報部部長 松村 泰志

医療機器物流の現状と未来

小西医療器株式会社 取締役事業部長

島田 正司

医療機器情報
コミュニケーター
(MDIC)
更新ポイント取得

場 所 滋慶医療科学大学院大学

大阪市淀川区宮原1-2-8(新大阪駅前)

定 員 100名(先着順)

参加費 企業関係者 5,000円

医療・教育関係・非営利団体・学生 2,000円

主 催 滋慶医療科学大学院大学 医療機器安全管理研究会

キックオフ・セミナー「医療機器、未来へ。」 参加申込方法

(1) FAXの場合

下記にご記入いただき、送信してください。

FAX番号 06-6150-1337

(2) 大学ホームページからの場合

滋慶医療科学大学院大学

URL <https://www.ghsj.ac.jp>

申込締切は、**2018年11月2日(金)**です。
受付後、参加費の振込口座をお知らせいたします

お問合せは、

滋慶医療科学大学院大学 事務部まで

TEL 06-6150-1336

メール info@ghsj.ac.jp



●地下鉄御堂筋線 新大阪駅②番出口徒歩1分

●JR新大阪駅 3F改札口から北口を出て徒歩1分

●→ 徒歩順路

(JRの東改札を出て右方向へまっすぐ。北口を出て新大阪急ビル1Fへ下りる。)

「医療機器、未来へ。」 FAX申込書 06-6150-1337

貴施設・会社名

参加者ご氏名

①

②

③

④

連絡先

電話

FAX

メールアドレス

連絡事項

医療機器安全管理研究会とは

近年、医療情報や医療機器の電子化が普及し、今後はAI搭載型医療機器などによる診療、検査、治療、情報管理や患者への直接的な介入が予測されています。手術支援ロボットに代表される医療機器では、数年内に最新の3D画像システムと高精度センサーを用いた完全自立型ロボット手術システムが市場導入され、医療現場での「シンギュラリティ」が現実のものとなりつつあります。

医療機器は多様な素材で構成され、かつ構造が複雑で、維持管理や再処理においても専門性が求められますが、AIやロボット導入に伴う「安全」に対する信頼性、妥当性、責任の明確化及び医療費全般に関わる経済性に対する議論は、まだ十分とはいえません。

一方、医療費抑制の観点から、SUD(単回使用医療機器)の「再製造」に対する新しい制度導入が2017年7月に厚生労働省より示されました。しかし、その導入についての信頼性・妥当性に関する具体的な手法は不明確であり、法的制度設計も不十分な状況です。

このような医療機器全般に関わる安全性、有効性、信頼性、妥当性そして経済性について、実践的な安全管理の推奨方法を提言する組織として、この度医療機器安全管理研究会を発足致しました。